

**製品名: APC5 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab07000**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	85kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ANAPC5
別名	ANAPC5; APC5; Anaphase-promoting complex subunit 5; APC5; Cyclosome subunit 5
遺伝子 ID	51433.0
SwissProt ID	Q9UJX4
免疫原	抗血清はヒト ANAPC5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

## 背景

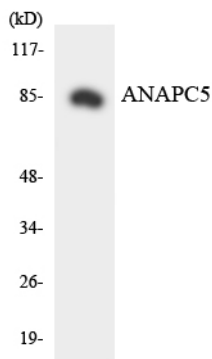
この遺伝子は、後期促進複合体/サイクロソーム (APC/C) のテトラトリコペプチドリピート含有成分をコードします。APC/C は、B 型サイクリンなどの多数の細胞周期調節因子を標的とし、ユビキチン化を介して 26S プロテアソームを介した分解を行うことで、細

胞周期の進行を制御する大型 E3 ユビキチンリガーゼです。コードされているタンパク質は、APC/C の適切なユビキチン化機能と、APC/C と転写コアクチベーターとの相互作用に必要です。また、ポリ A 結合タンパク質と相互作用し、内部リソソーム進入部位を介した翻訳を抑制します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみつかっています。これらの違いにより、下流の AUG で翻訳が開始され、アイソフォーム a と比較して短いタンパク質 (アイソフォーム b) が生成されます。 [RefSeq 提供、2008 年 11 月],機能:有糸分裂と細胞周期の G1 期の進行を制御する細胞周期調節性ユビキチンリガーゼである後期促進複合体/サイクロソーム (APC/C) の構成要素。 ,経路:タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。 ,類似性:APC5 ファミリーに属する。 ,類似性:4 つの TPR リピートを含む。 ,サブユニット:APC/C は少なくとも 11 のサブユニットから構成される。 ,

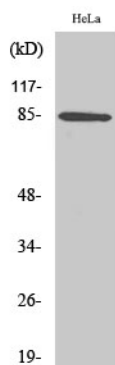
## 研究分野

Cell\_Cycle\_G1S;Cell\_Cycle\_G2M\_DNA;卵母細胞減数分裂;ユビキチンを介したタンパク質分解;プロゲステロンを介した卵母細胞成熟;

## 画像データ



ANAPC5 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



APC5 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析